



出羽街道は村上市下を起点にして北上し、庄内領鶴岡へ通じる街道です。途中、猿沢・塩野町を通り、葡萄峠を越え、北中・小俣を経て庄内領へと続きます。村上の本庄氏の戦の記録にも度々登場したりと、古くから軍用道として使われ、村上と以北を結ぶ重要な道でした。しかし、物品の往来はそれほど多いものではなく、奥の細道で松尾芭蕉が庄内から村上に向かった際に通ったことが知られていますが、越後からは出羽三山詣での旅人が中心でした。

現在では街道の大部分が舗装路に姿を変えています。葡萄から大沢の間は途中幅の狭い道や石畳の道など、当時の道のまま、道路改良もされずに残っています。また、北中や小俣などの集落は宿場の雰囲気を色濃く残しています。



出羽街道

歴史とロマンがある
ノスタルジック街道

出羽街道MAP



日本国太鼓は、日本国の山開きイベントなどで披露されます。ぜひ、その勇壮な演奏を堪能してみてください!!



●日本国太鼓
子供から大人まで幅広い年代のメンバーで組織され、山北を代表する芸能として様々な催しで披露されています。



●日本国登山
日本国(555m)
日本国登山口

現代のわらし“スニーカー”に履きかえて歩いてみよう

出羽街道は、その昔、出羽と越後を結ぶパイプの役割を果たしてきました。山北地区の山間を、およそ18kmにわたり南北に縦断する道をスニーカーで歩いてみませんか。かつては松尾芭蕉が奥の細道の旅で越後に入ったこの街道は、きっと長い歴史を感じさせてくれることでしょう。

白山神社の姥杉に1,200年の時の流れと自然のパワーを感じてみては、ココロは、はるかむかしへタイムトリップ!!

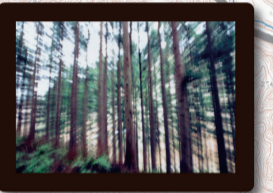


●白山神社の姥杉(小俣地内)
樹齢1,200年を超える白山神社の姥杉は、県の文化財指定を受けています。



●小俣渓谷
秋、山北地区の山々はそれぞれに美しい紅葉に彩られます。中でも日本国の山裾を流れる小俣川沿いの渓谷は格別の美しさを誇っています。近くには、おまんの鏡岩伝説が残る鏡岩もあります。

出羽街道周辺は、春は桜、夏は本谷、秋は紅葉、冬は一面の銀世界と四季折々の趣を楽しむことが出来るよ。小俣宿で地元の人とふれあう、芭蕉気分を散策途中で一句、そして、散策の疲れを名水で癒す……なんてもいいいかも。



●山北杉
新潟県内でも有数の林業地である山北地区は杉の良質材生産地として、健全な森林づくりを推進しています。日本の風土・気候に合った木の住まいを提案しています。

ここより少し山より(山無田)に行くと「さんぼく生業の里」という施設があります。ここでは山菜料理づくりやしな織り体験、山の生業体験ができます。(要予約)ぜひ皆さんも体験してみてください。



●ホタルの里(中継)
山間の集落では、各地でホタルが見られます。中でも中継集落は「ホタルの里」として地元住民が丸となって保護に努めています。ホタルとともに、四十手清水などの名水や夜空に輝く星々が歓迎してくれます。



●さんぼく生業の里(山無田)
雪深い山里の旧家を思わせる家屋と、館内でのしな織り作業はここ山無田集落の生活文化を感じさせます。この館を体験工房としてしな織り、赤かぶつみをはじめ季節ごとの山の生業が体験できます。



●街道沿いの旧家(北黒川地内)
昔を偲ぶ佇まいの地主の家。旅の雰囲気をゆったりと感じさせます。



●北中芭蕉公園
芭蕉が奥の細道を巡遊してちょうど300年後の平成元年8月に、旧山北町と「奥の細道あゆむ会」の手によって開園した施設です。



●街道沿いの旧家(北黒川地内)
昔を偲ぶ佇まいの地主の家。旅の雰囲気をゆったりと感じさせます。



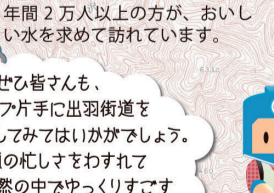
●吉祥清水(大毎地内)
大正13年に、大毎集落住民有志が吉祥岳の麓に湧き出る清水を飲料水として集落内に引き込んだのが始まりです。平成20年には「平成の名水百選」に選定され、年間2万人以上の方が、おいしい水を求めて訪れています。



●のどかな田園風景(大毎～北中)
のどかな棚田の広がるこの地域は、朝霧や夕霧がたなびます。



●吉祥岳(500m)
大沢(500m)
峠の石畳(日本の歩きたくなる道500選)
石畳・座頭おとし



●吉祥清水(大毎地内)
大正13年に、大毎集落住民有志が吉祥岳の麓に湧き出る清水を飲料水として集落内に引き込んだのが始まりです。平成20年には「平成の名水百選」に選定され、年間2万人以上の方が、おいしい水を求めて訪れています。



小俣宿入口



日本国のイベント風景



ふれあいパーク



小俣宿でいっつく